

地域包括支援センターについてと自立支援型ケアマネジメント

介護保険制度見直しに関する概要 (H28.12.9)

【適切な指導による実績評価】

- ・要介護状態の維持・改善度合い、ケア会議の開催状況の適切な指導に従い実績を評価
- ・評価結果の公表、財政的インセンティブの付与検討
- ・地域包括支援センターの機能強化(土、日祝日の開所、地域ケア会議の内容の具体化・明確化、市町村による評価の義務づけ等)
- ・ケアマネジメント手法の標準化に向けた取り組みによる推進

24時間、365日対応できるようにしろ

科学的介護

自立支援型ケアマネジメントと財政的インセンティブ

自立支援型ケアマネジメントとは

より介護サービスを利用しなくてもよいようなケアマネジメントを提供すること

要介護状態を卒業して総合事業を利用するように促すケアマネジメントに結び付けること

厚労省は大分式、和光式を基本に全国的に広めていこうとする姿勢

事例

大分式、和光式

利用者の状態：生活の不安定により下肢機能の低下が顕著(要支援 2)
利用者の課題：入浴ができるようにする
認定期間：6か月

ケアマネが立てたケアプラン

目標：安全に入浴できるようにする

ケア会議で修正

お世話型ケアマネジメントだ!

あいまいな目標、デイに行けばこの目標はすぐ達成できるだろう!

サービス内容がいつまでたっても問題解決には至らない!

ケア会議で修正したケアプラン

目標：6か月後自分で入浴できる

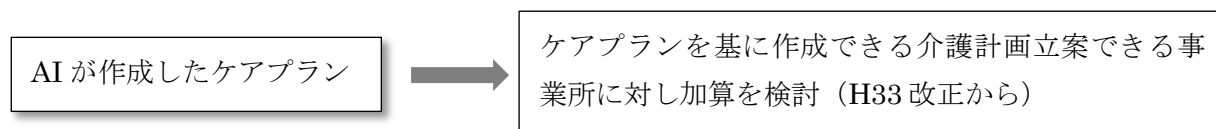
ケアプランのダメだし

短期集中型のケアプランへ修正される

財政的な面から事業所に対し、自立型ケアマネジメントを求めることに

科学的介護の促進

科学的介護・・・介護に関する過去のビッグデータを AI（人工知能）に学習させ、AI がケアプランを作成するというもの



今後はケアマネに人工知能（AI）が作成したケアプランのチェック能力が求められるのか

文書の ICT 化、文書量の半減に向けた取組の推進

介護職員の負担軽減を行う観点から

- ・行政が求める文書の整理を行う事と併せて ICT 化による効率的なサービス提供のモデル実証を行う
- ・その成果を踏まえ ICT 化等を活用している事業所に対する 人員・設備基準の緩和等の見直しを H30 年度の介護報酬改定に合わせて検討するものとする
- ・日々のサービス提供に係る 記録等の ICT の活用による事務の効率化を図り、生産性の向上を推進する



現場でのサービス提供+その場での記録を推奨

居宅サービスにおいて各スタッフ(介護職員、看護師等)にタブレット端末を配布し、現場で介護記録に活かすことを推奨

実際に現場でタブレットを導入している事業所に関しては基本報酬をあげる、もしくは加算という形で報酬上の評価を図るのか？

介護ロボット開発等加速化事業

介護ロボット等の開発、普及について、開発企業と介護現場の協議を通じ借相談会から現場のニーズを開発内容に反映、開発中の試作機のアドバイス、開発された機器を用いた効果的な介護技術の構築など、各段階で必要な支援を行う事により、加速を図る

介護現場における介護ロボットの導入を加速させ、事業所に導入を推奨

今後は、導入した事業所に対し、「介護ロボット等体制加算」という形で評価か？